

# タイトル『大正浪漫 原作小説』

著者： NATSUMI 出版社： 双葉社

中学生だった『時翔』は、ある日 自分の机の上に 1つ文通があることに気がついた。その中見を見ると、なにやら 訳の分からない手紙だった。ここへどうして手紙が届いたのか。ひとまず、時翔はその相手に手紙を書くことにした。その手紙を相手ととり合っているうちに、その相手が誰か気づいてしまった。『千代子』という人だ。千代子はまさかの『大正時代』を生きている人だったのだ。現代を生きる時翔と大正を生きる千代子が、たがいに 文通で伝え合っているうちにどちらもその人のことを好きになってしまっていた。—  
—そして大正時代では 関東大震災が東京をおそう。時翔は千代子に いっくも早く伝えるべく、千代子に手紙を書くのだが。—

投稿日 2021年11月10日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

Y.S.

年齢

14

仙台市 戸田

YAコーナー